

# 昭和55年度 和歌山県文化奨励賞

## くまのじへん いんかい 熊野路編さん委員会

創 立：昭和45年3月

編さん委員数：19名

### ◎業績及び経歴

昭和45年3月開県100年と黒潮国体記念事業として、熊野路の由緒、経路、遺跡等を調査研究、記録編さんするため田辺市、上富田町、大塔村、中辺路町、本宮町の熊野古道沿線の5市町で「熊野路編さん委員会」を設立し「熊野中辺路(くまの文庫)」の編さん出版事業をはじめた。

同46年10月「郷土を知る会・熊野中辺路刊行会」を結成し、一千年の歴史をもつ熊野中辺路の良さを広く知ってもらうため読者の会を募集、現在県内で約600人、県外で約250人の会員がおり、同年、第1集「歳時記」を出版した。

昭和47年から同54年まで第2集「伝説(上)(下)」第4集「古道と王子社」第5集「大塔山系の自然」第6集「民具」第7集「詩歌」第8集「森林と動植物」第9集「子ども風土記」第10集「みちばたの草と虫(上)」を、そして同55年には「みちばたの草と虫(下)」を続刊した。

この間、「伝説(上)(下)」と「古道と王子社」は第3版を、「大塔山系の自然」は第2版を増刷出版し、延発行部数は47,000冊に及んでいる。

くまの文庫を通じ、改めて郷土の良さを発見するとともに、文化振興ならびに観光立県に大きな貢献をした。

現在、第12集「野の仏たち」(仮題)と第13集「溪流と動植物」の出版にとりくんでいる。